

(様式1)

平成28年12月9日

宮城県議会議長 中島 源陽 殿

仙台パワーステーション建設問題に関する
公聴会の開催を求める請願書

紹介議員 (署名又は記名押印)

相沢 光哉

坂下 やすこ

遠藤 いこ子

庄子 賢一

岸田 清実

菅間 進

1 請願の要旨

宮城県に、仙台パワーステーション建設問題に関する

公聴会の開催を求めます

2 請願の理由

現在、津波被害を受けた仙台港近くに、関西電力と伊藤忠商事の子会社が、平成29年10月の操業開始をめざして、仙台パワーステーションという石炭火力発電所の建設を進めています。出力11.2万kWのため、環境アセスメントが実施されていません。近隣には小中学校や病院をはじめ多数の教育機関、公共施設や集客施設があり、大気汚染による子どもや住民の健康への影響が危惧されます。津波で流されながらも奇跡的に復活した蒲生干潟などの稀少な生態系への影響も懸念されます。

宮城県と仙台市など6市町（甲）と仙台パワーステーション株式会社（乙）との間で、平成28年3月2日付けで締結された公害防止協定は「第20条 乙は、環境情報の公表や事業所の公開等、地域住民に対する環境コミュニケーションを積極的に推進する」と定めています。しかしながら、住民側が平成27年8月14日以降、再三にわたって、地元説明会の開催を求めてきたにもかかわらず、事業者側は「質問は郵送で送付するように」「文書で回答することも、コミュニケーションの一つ」とするばかりで、環境コミュニケーションへの誠意が見られません。

よって、地元住民の不安を払拭し、公害防止協定第20条に規定する環境コミュニケーションを積極的に推進するために、宮城県が、仙台パワーステーション建設に関して、事業者・有識者・地域住民等から意見を聴取する公聴会を開催することを請願いたします。

(請願者)

〒980-8576

宮城県仙台市青葉区川内27-1 東北大学東北アジア研究センター

明日香壽川研究室

団体名 仙台港の石炭火力発電所建設問題を考える会

氏名(団体の代表者) 代表 長谷川公一

代表 明日香壽川



電話番号 022-795-7557